



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 見上一幸

仙台市青葉区国分町一丁目8-13
(仙台協立第1ビル 4階)

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406

【事務所移転のお知らせ】

2020年に仙台市役所錦町庁舎より仙台第一生命ビルに事務所を移転しましたが、今年度「仙台第一生命ビルディング建替計画」に伴い、9月18日(水)に仙台協立第1ビル4階に事務所を移転致しました。

新住所は〒980-0803 仙台市青葉区国分町1丁目8-13となります。改めて、新事務所開きはいりませんが、1階にはフリースペースとして自由に打合せが出来る集いの場所もございます。事務所は、火・金曜日の10時～16時の間開いております。近くにお越しの際は、気軽にお立ち寄りください。尚、電話番号は変更ございません。今後とも当協会の活動にご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

この夏、青年部は熱かった！！

～2年目となった「平和祈念七夕プロジェクト」と「復活 宮城ユネスコ子どもキャンプ」～

「平和祈念七夕プロジェクト」は7月の飾り作りから始まりました。集まったのは、仙台育英学園高、宮城県多賀城高、尚絅学院高、常盤木学園高の生徒たち。高校生が考えたデザインは、若者らしい自由さとユネスコの理念が融合した素晴らしいものとなりました。飾りの材料提供と制作の指導は、株式会社マルイチ商事 壱岐様。仙台七夕の伝統を守り続ける七夕飾りのお店です。全4回の制作日程で、3連の飾りが完成しました。

飾りの設置は、仙台駅東口宮城野通。風に吹かれる吹き流しの風情は、本来の七夕まつりを彷彿とさせます。七夕当日の3日間は、東口商工事業協同組合様の事業である短冊に願いを書く活動に参加、東北福祉大の学生も加わり、市民・観光客と交流しました。

壱岐社長様に仙台七夕の歴史のスライドを見せていただき、伝統行事をつなぐ思いに触れたことも、地域の活性化や伝統の継承に尽力する大人の姿に触れる、貴重な機会になりました。



「宮城ユネスコ子どもキャンプ」が、コロナ禍で中止となって5年。復活を果たしたのは、小・中学生としてキャンプに参加し、今、大学生・高校生となっている青年たちです。1年

前から他地域青年部のキャンプに参加してノウハウを学び、仲間を募り、何か月も前から準備をしてきた熱い思いと並々ならぬ努力で、8月13～15日、オーエンス泉岳自然ふれあい館でのキャンプ開催が実現しました。

子どもたちの宿泊を1泊にし、募集人数を半分にして実施したキャンプは、児童生徒13名、青年・学生スタッフ21名、大人スタッフ12名の計46名での開催となりました。別れ際、来年への期待を口々に、児童生徒・青年たちの充実感溢れる笑顔が、キャンプの成功を物語っていました。

(青年部担当副会長：内藤恵子 記)

※活動の詳細は、青年部のInstagramをご覧ください。



青年部の仲海渡です。

今年も高校生を中心とした多くの方のご協力がありました。関わってくださった皆様、当日短冊を書いてくださった皆様、本当にありがとうございました。ここで出会えたつながりを大切にしていこうと思います。自分は今年が仙台での学生生活が最後であり、仙台最後の夏に仙台七夕祭りに関わることができ、とても幸せでした。この活動を通して、仙台で過ごしたことを誇りに思いました。

青年部の吉田彩音です。

今年のテーマは「つながる一歩」。コロナ禍で実感した、人とつながることの素晴らしさ。勇気を出して仲間とつながる一歩を踏み出せば、1人ではできないことも乗り越えられること、その過程で大きく成長できることを知ってほしいと、このテーマにしました。

キャンプを再開したいと言い出してから1年。奈良ユネスコ青年部の皆さんとの出会い、企画メンバーとの出会い、青年部OB. OGの助言、親御の支援…。そして参加した子どもたち、送り出してくれた保護者の皆様。たくさんのお会いがあったからこそ実現させることができました。関わってくださった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年(昭和22年)7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

2024年度「民間ユネスコ運動の日」記念行事

「民間ユネスコ運動の日」の記念行事を7月7日(日)午後2時から「東北福祉大学仙台東口キャンパス」にて60名の参加のもと開催しました。

初めに青年部代表・仲海渡さんから「ユネスコ会員綱領」を唱和し、その後全員で「ユネスコの歌」を斉唱しました。次いで、見上会長の挨拶の後、3名の方より来賓挨拶をいただきました。続いて書き損じはがきにご協力いただきました1団体と2名の個人に感謝状贈呈を行いました。また、青年部で取り組んでいる平和祈念七タプロジェクトに多大なご協力をいただいたマルイチ商事株式会社にも感謝状贈呈を行いました。

記念講演は元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使の木曾功さんより「これからのユネスコ活動について」と題して講演いただき、運動の活性化には若者の参画が必要と強調され、今後は環境問題など若い人が興味を持つ切り口から現代性を持つ運動にしていくべきだとお話しされました。

そして、高橋仁参与より御礼挨拶があり、最後に青年部からは「平和祈念七タプロジェクト」と「宮城ユネスコ子どもキャンプ」の活動報告がありました。今後も引き続き当協会としても青年部の活動を応援していきたいと思えます。(企画・広報委員会委員長/副会長：松坂宏造 記)



見上会長の挨拶



木曾功さんの記念講演の様子



感謝状の贈呈

ユネスコカレッジ講座 (潮風トレイルシリーズ第3弾)

10月10日(日)ユネスコカレッジ講座を開催しました。訪問先は福島県の相馬・双葉地方で、参加者39名、市民の方と会員とがほぼ同数でした。

最初に訪問した東日本大震災・原子力災害伝承館は、地震・津波・原子力災害によって大きな被害を受けた地域とその復興への道のりを国内外に広く伝えることを目的としており、私たちも「あの日あの時」を思い起こし、今日明日への防災の備えについて気持ちを新たにしました。

次に石窟で有名な「相馬百尺観音」参拝、それから昼食会場「たこ八」へ移動し料理に舌鼓を打ちお買い物を楽しみました。その後、みちのく潮風トレイル発着地点の松川浦環境公園を散策しました。

最後に相馬城跡にある中村神社を訪問し、田代宮司様より神社の長い歴史や地元との関わりについてのお話を拝聴いたしました。

天気に恵まれた秋の一日、防災意識を再確認し、地域の歴史遺産と環境保護などを学ぶ意義深い講座を終え、全員無事帰途に着きました。(活動委員会/理事：佐藤芳郎 記)



相馬市松川浦・みちのく潮風トレイル発着点で記念撮影



相馬・中村神社で



原子力災害伝承館で記念撮影

ユネスコ会員企業紹介

～SDGsの取り組みについて～

宮城商事(株)

宮城商事のサステナビリティ推進

■はじめに

宮城商事は、1949年の創業以来、地域・お客様との信頼関係を基盤として、地域社会の発展に資する事業をすすめてまいりました。保険・不動産事業を中心に、お客様の事業や暮らしに関わる安全、安心のご提案、快適に働くビル空間や豊かな住まいのご提供を永く続けて、現在に至っています。

2030年までに達成すべき地球規模での社会課題「SDGs」については、当社長期経営方針「Vision2030」において施策推進全体を通して「SDGs」に賛同した取組を継続的に行っています。

宮城商事のサステナビリティとは、企業としての持続的な成長（経済的価値）と、持続可能な地球環境・社会の実現（社会的価値）を同時に目指すことです。サステナビリティを社内に根付かせ、実効性を高めていく要点は、過去・現在までの当社の様々な取組をサステナビリティの視点で意義付けして、従業員一人ひとりがサステナビリティへの取組自体を主体的に認識すること（自分ごと化）と



仙台宮城野ビル

考えています。

■宮城商事のマテリアリティ

人口減少・流出によるマーケット縮小、気候変動・感染症によるリスク多様化など、地域社会課題の解決、そして、当社の持続的成長にとっても、重要なテーマ「宮城商事のマテリアリティ」については、ステークホルダーや企業活動が重視するコンセプト、E（環境）、S（社会）、G（企業統治）の観点で、「マテリアリティ・マップ」として整理しています。

■サステナビリティ推進

サステナビリティの取組は多種多様ですが、次の5つを柱として、

- (1) 社会課題解決につながるコンサルティング保険営業
- (2) 持続成長可能な街づくりに資する不動産事業（賃貸・販売・仲介）
- (3) 防災・減災対策を徹底し、災害レジリエンス向上
- (4) 人材育成、人的資本充実
- (5) ガバナンス向上

を社内外で推進しています。

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1丁目7番4号
TEL 022-222-6680
<https://www.miyasyo.co.jp/>

(株)阿部和工務店

阿部和工務店は昭和44年の設立以来、建設事業を通して社会貢献、地域貢献を果たすことを使命として社業を展開して参りました。2015年にSDGsの17のターゲットが発表され、当社でも宮城県を事業拠点とする地元建設業者として、出来る事から始めて行こうと事業活動が17ターゲットのどれに該当するか検討・実行して参りました。

【気候変動に具体的な対策を】

元々ISO14001を2001年に取得し環境負荷軽減活動の目標を設定し取り組んでいたこともあり、CO₂削減の取組みとして、設計部門では環境負荷軽減配慮の設計を目標に再生可能エネルギーの積極採用に努めています。また、仙台市で推進する温室効果ガス削減アクションプログラムに自主的に参加し、事務所内から排出される温室効果ガスの削減を目標に設定し取り組んでいます。



【質の高い教育をみんなに】

社員への資格取得支援のみならず、協力会社の社員も含めた、様々な内容の講習会を開催し、当社の活動に関わる様々な人へ教育の機会を提供しています。また、東北工業大学と包括連携に関する協定を結び、キャリア教育・講師派遣



等の活動も行っています。

【はたらきがいも経済成長も】

仙台市内の中学生の職場体験や、インターンシップでの就業体験を高校・大学と連携し積極的に受け入れ、これからの若者が働き甲斐を感じられるような活動を行い、雇用の創出に取り組んでいます。



【貧困をなくそう】

農業法人を取得している自社農場では約14町歩の田んぼで、自然環境への影響を最小になるよう配慮し稲作を行っています。この中には担い手のいない休耕地を買い取り耕作している田んぼも含まれます。また、生産性を高める為、最新の農機具や乾燥、精米、低温保管等を自社で導入・運用すると共に、収穫された宮城米を児童養護施設や社会福祉施設に提供する活動も展開しています。



阿部和工務店は今後も様々な取組を通し、持続可能な社会の発展を目指して経営努力を続けて参ります。

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1丁目17番18号
銅谷ビル
TEL 022-264-0411 FAX 022-225-5244
<https://abekazu.co.jp/>

第59回 国際理解教育に関する弁論大会

第59回 国際理解教育に関する弁論大会が令和6年9月3日、聖和学園高等学校薬師堂キャンパスにおいて行われました。この大会で、第1位の宮城県知事賞を受賞した高校生は、全国大会に出場が決まる宮城県予選も兼ねています。

さて、今大会においては、宮城県内の各高校より10名の代表者が参加しました。テーマの、世界平和と安全を守る活動などについて、高校生が自らの考えを発表しました。

当日の暑さにも関わらず、高校生の皆さんが、本番直前まで熱心に練習を繰り返している姿はとても印象的でした。そして、練り上げた考えを述べ、その結果、第1位の宮城県知事賞に、演題「わたしの平和宣言」尚綱学院高校3年生の小林桜子さんが、国連の不戦の誓い等について述べ、全国大会に。

また、仙台ユネスコ協会会長賞に、富谷ユネスコ協会での活動や曾祖母の戦争体験談等から極めて高い説得力のあった富谷高校1年の三浦暖花(ほのか)さんの「平和の砦」が選ばれました。

内容はもちろん、説得力は2人とも全国大会に出場しても遜色ない高さで、原稿を全く見ずに想いを述べ、レベルの高さのため審査には、かなり時間を要しました。また、他の8名の高校生も参加された方々から感動したとの声が多く聞こえてきました。(企画広報委員会/理事：畠山明 記)



仙台ユネスコ協会会長賞を受賞した富谷高校1年の三浦暖花(ほのか)さん

国際交流講座 「着物着付け体験講座」

秋晴れの10月12日、「着物着付け体験講座」を、東北大学、東北福祉大学の42名の留学生の参加を得て開催しました。青年部・日本人学生、東北大学の先生方のお手伝いをいただき、講師は、NPO法人「いろどり・みんなのみち」の浅野美枝子さんと櫻井悦子さん。スタッフの方と計5名で着付けをしていただきました。着物姿の留学生たちは西公園や定禅寺通を散策、写真を撮ったり、留学生同士の交流をしたり、楽しい時間を過ごしていました。日本人学生にとっても、日本文化体験を通して留学生との学び合いができた、良い機会となりました。見上会長は大名袴姿で留学生と交流し、撮影にに応じていました。

(ESD/SDGs委員会/参事：菊地恵美子 記)



東北ブロック・ユネスコ活動研究会 山形大会 in 酒田

10月5日(土) ホテルリッチ&ガーデン酒田にて、「育もうユネスコの心～ユネスコ運動の活性化を目指して」をテーマに、研究協議・情報交換が行われました。記念講演は、伝統文化 紙芝居によるユネスコの心として、「よねさん」こと米田佐之助氏による、心温まる紙芝居から始まりました。続いて事例発表では、東北3県の発表がなされ、その中でも、古川学園高等学校2年の田代悠太さんの「怠惰からの脱却とESD」の発表には、大人こそ学ばねばならないことを改めて感じさせられ驚きました。その後の情報交換会は、グループ討議となりました。冒頭では、当協会青年部であり日本ユネスコ協会東北ブロック青年代表理事の中谷祐太さんの発表もあり、当協会からは、青年部も含む5名が参加し、今後の活動や学びを深める研修となりました。(事務局長：針生真由美 記)



これからの行事予定

- 12月9日(月) 活動報告&交歓会
- 令和7年 1月20(火)~26日(日) ユネスコ子ども絵画展

会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

| | |
|---------------|---------|
| 団体会員(一口) 年会費 | 20,000円 |
| 個人会員(一口) 年会費 | 5,000円 |
| 青年部会員(一口) 年会費 | 2,000円 |

仙台ユネスコ協会 会員数

| | |
|-------|-----|
| 団体会員 | 73 |
| 個人会員 | 124 |
| 青年部会員 | 14 |
| 合計 | 211 |

(10月末現在)

【編集委員】

松坂 宏造 小泉知加子
 畠山 明 岩山 浩一
 佐藤 皇季 千葉 雅保

【編集後記】

ユネスコ会報476号をお届けします。「仙台第一生命ビルディング建替計画」に伴い、事務所を移転しなければなりませんでした。新たに事務所が決まってよかったです。

2024年度は「平和祈念七夕プロジェクト」に加えて「宮城ユネスコ子どもキャンプ」も再開され、幅広い年代で活躍の場が広がりました。皆様も加わっていっしょに活動しませんか! 仙台ユネスコ会報編集長 小泉知加子